



天皇陛下御即位記念

第74回国民体育大会 いきいき茨城ゆめ大会

茨城では、昭和49年の第29回大会「水と緑のまごころ国体」以来45年ぶりとなる国体の開催です。今大会は、天皇陛下御即位記念として、令和の幕開けにふさわしいすばらしい大会となるよう、茨城県民の総力をもって、ぜひ成功へと導きましょう！

大会概要

■開催期間

令和元年9月28日(土)～10月8日(火) ・11日間
・会期前日程：9月7日(土)～9月16日(月・祝)

■実施競技

○正式競技：37 ○特別競技：1
○公開競技：5 ○デモンストレーションスポーツ：31

■参加者(選手・監督・役員等の総数)

約23,000人

■スローガン

「翔べ 羽ばたけ そして未来へ」

■マスコット



いばラッキー

作者 ミウラナオコ



■イメージソング

「そして未来へ」

作詞・作曲 兒玉苑香 / 編曲 大崎慶子 / 歌 磯山純

■主催

公益財団法人日本スポーツ協会、文部科学省、茨城県

※各競技会は、公益財団法人日本スポーツ協会加盟競技団体及び会場地市町村も主催となります



炬火(きょか)

オリンピックの聖火にあたる「炬火」は、県内全44市町村の炬火イベントで採火。開会式では44の火が1つに集められ、「いきいき茨城ゆめの火」として炬火台に点火されます

この火を無事に届けるぞ！



大会の見どころ

■とるぞ！天皇杯&皇后杯

注目すべきは、何といても本県選手団「チームいばらき」の活躍。これまで、各選手・監督その他多くのサポート陣が一丸となって、競技力の向上に努めてまいりました。今こそ、その成果を示す時です。男女総合成績第1位の「天皇杯」、そして女子総合成績第1位の「皇后杯」を、45年ぶりに再びのW獲得となるか。県民の皆さんの熱い声援が選手の力となります。ぜひ、各競技会場へ足をお運びください。



スポーツクライミングの野口啓代さん(左)や卓球の吉村真晴さん(右)など、ワールドクラスのアスリートも出場予定

■戦いは、この冬から始まった

天皇杯・皇后杯は、冬季大会と本大会の通算成績で争うため、今年の1～2月に、北海道で行われた冬季大会での成績も大きく関係します。茨城県は、スケート・アイスホッケー・スキーマの各代表選手の大奮闘により、過去最高、北海道や長野に次いで、現在、第3位と好位置につけています。

総合開会式 / 総合閉会式

式典テーマ：翔べ 羽ばたけ そして未来へ

本県の多彩な魅力を表現し全国に発信。参加したすべての人が感動と喜びを共有でき、記憶に残る式典とします

会場：笠松運動公園 陸上競技場



45年前の茨城国体でもこの会場を使用しています。今年の国体に向け、メインスタンドの屋根や大型映像装置などを改修しました